



〈カプト・クワガタ昆虫顔面博覧会〉会場風景



ギャラリー展示風景



©Kazuo Unno



野外展示風景

# 昆虫ふしぎ

海野和男の昆虫写真展

2025年9月28日(日)まで開催中!

金津創作の森美術館  
アートコア・野外美術館

時間 10:00~17:00(最終入場16:30)  
休館日 月曜日(祝日の場合開館、翌平日休館)  
観覧料 一般600円(400円)、65歳以上・障がい者300円、  
高校生以下・障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)無料  
( )内は20名以上の団体割引



詳しくはこちらから▲

## 関連イベント

### 海野和男ギャラリートーク

珍しい昆虫の説明や撮影の秘話など  
お話しできます。

日時/9月14日(日)14:00~15:00  
集合場所/美術館 アートコア 展示会場内  
※要観覧券観覧料



### 森を"たんけん"昆虫スタンプラリー

4つのスタンプを集めたら、海野さんの昆虫写真を使った本展特製缶バッジをプレゼント!  
どんな缶バッジが当たるかはお楽しみ。  
配布場所/展示会受付 ※要観覧券観覧料



## 1日体験 一竹細工体験一

身近な素材である竹を使って、遊び心ある昆虫や恐竜を作ります。

開催日時/火~日曜日 10:00~13:30

会場/創作工房

料金/昆虫1,700円(税込み)1作品  
恐竜1,900円(税込み)1作品

作品仕上り/当日お持ち帰り可  
予約・お問合せ

創作工房 TEL.0776-73-7802



## 本物の舞台役者から学ぶ、表現の迫力

◆7月8日(火) 金津中学校



あわら市出身で「越前あわら観光大使」を務める俳優の中嶋 宏太郎さんによる特別授業「歌舞伎朗読ワークショップ」が行われました。

金津中学校の1年生の生徒たちは、日本の古典芸能である歌舞伎の演目「外郎売」を体験的に学び、表現することの魅力に触れました。最初は緊張していた生徒たちも、先生のお手本に続いて堂々とセリフを繰り返すなど、積極的な姿勢を見せていました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した「あわらの話題」をお届けします!



## あわら市観光の顔に就任!

◆7月22日(火) 市役所



株式会社グランディア芳泉の常務取締役である山口高澄さんが「越前あわら観光大使」に就任しました。

山口さんは、YouTubeやInstagramなどのSNSを活用し、あわら温泉をはじめ、あわら市の観光PRや知名度向上に多大な貢献をされています。

今後は観光大使として、さらに連携を深め、より多くの人々にあわら市の魅力を届けていただきます。



## 郷土歴史資料館 だより



郷土歴史資料館  
公式Instagram  
はこちら

### 新たな県指定文化財の紹介 「伊井白山神社本殿 附 棟札3枚」

令和7年5月13日付けで、「伊井白山神社本殿 附 棟札3枚」が新たに県指定文化財に認定されました。伊井白山神社は、伊井地区伊井区いりやつくりの南東に位置しています。本殿は、入母屋造、柿葺の建物で、全体に龍や天女、中国の故事の場面などが彫刻で表現されています。この本殿は、棟札の記述から文化3年(1806年)の建築で、伊井地区を拠点に活動した伊井大工の手によるものです。伊井大工は、江戸時代から近代にかけて、現在のあわら市や坂井市など嶺北地域を中心に活躍しました。

このように、伊井白山神社本殿は、江戸時代後期の県内寺社建築の特徴を持つ代表的な事例であり、同時に伊井大工の優れた建築技術を伝える貴重な事例としても重要です。



▲伊井白山神社本殿

### 夏季企画展展示資料の紹介 「薄作りの土器」

現在開催中の夏季企画展「発掘調査から読み解く南稻越遺跡」の展示資料より、「薄作りの土器」を紹介します。

弥生時代の終わり頃から古墳時代の初めにかけて、日本全国で薄い土器が作られるようになりました。中でも伊井地区近辺の土器は非常に薄く、南稻越遺跡では、厚さがわずか2mmしかない土器が数多く発見されています。このような薄い土器を作るとは、とても難しく、現在の技術でも再現が困難です。

ぜひ、当地域の人々が高い技術力をもって製作した驚異的な薄さの土器をご覧ください。

期間 8月31日(日)まで  
ところ 郷土歴史資料館  
入場料 無料



南稻越遺跡で出土した薄作りの土器

